

膵臓がんのナノナイフ治療

膵がんは、自覚症状のないまま進行し、診断された時点で手術による切除が難しいことが多く、最新の日本のがん統計では、死亡数の多いがんとして肺・大腸・胃に続いて第4位（2015年）になっています。ナノナイフ治療とは、切除不能な局所進行膵がんに対し、がんの周囲に2～6本の電極針を刺し、3000ボルトの電流を流すことによって、がん細胞にナノサイズの穴を開けてがんを死滅させる治療法です。欧米ではすでに多くの実績があるこの治療は、日本では2015年～森安医師のもとで開始され、2016年4月、当院にて「がん局所療法センター」を開設してからは、80例あまりの患者様の手術を行ってまいりました。

今回の健康講座では、膵がんのナノナイフ治療の原理、適応、効果、合併症や治療成績についてわかりやすくご説明します。治療を検討されている患者様やご家族の方はもちろん、ナノナイフ治療について詳しく知りたい方々のご参加もお待ちしています。

日時：2017年11月10日(金) 14:00～15:30 (開場13:30)

場所：山王病院3階 山王ホール ※入場無料

森安 史典 (もりやす ふみのり) 医師

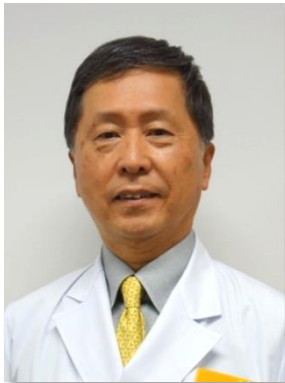
山王病院 がん局所療法センター長

国際医療福祉大学 病院教授 消化器内科 (肝胆膵疾患全般)

東京医科大学名誉教授 京都大学卒、医学博士

前東京医科大学臨床医学系消化器内科学主任教授、前東京医科大学病院消化器内科科長

日本消化器病学会認定指導医・消化器病専門医、日本肝臓学会認定指導医・肝臓専門医、日本内科学会認定内科医



消化器疾患、特に肝胆膵疾患の腫瘍性疾患の診断と治療を専門としています。治療面では長年低侵襲治療を研究してきました。肝がん、膵がんの超音波診断と局所治療を専門としており、消化器のがんの診断・治療に精通し、特に肝がんのラジオ波焼灼術、肝がん・膵がんのナノナイフ治療において、日本のパイオニアというべき存在です。当院では2016年4月にがん局所療法センター長に着任し、これら局所治療の診療にあたっています。

定員60名 (定員になり次第、締め切ります) ※参加費無料 (定員までは当日参加も可能です)

※参加ご希望の方は、以下の事項を記載の上、FAX、メールのいずれかでお申込みください。

・FAX: 03-3404-3652 (さんのう健康講座事務局宛て) ・mail : sanno-kenko@iuhw.ac.jp

※太枠内は必須項目です。

| | | | |
|---------------|---|--------|--------------|
| (フリガナ) お名前 | | 参加人数 | 1名 (+ 同伴者 名) |
| お電話 | | E-mail | |
| ご住所 | 〒 | | |

医療法人財団 順和会 山王病院 107-0052 東京都港区赤坂8-10-16 TEL:03-3402-3151

診療受付時間: 8:30～11:30 13:00～16:30 ※各診療科・曜日によって異なる場合がございます。

診療曜日: 月～土曜日

アクセス: 青山一丁目駅 4番出口より徒歩約4分 (東京メトロ銀座線・半蔵門線/都営大江戸線)

乃木坂駅 3番出口より徒歩約4分 (東京メトロ千代田線)